

おしらせ

港湾空港技術特別講演会 in 中国 2010 の開催について

[平成22年11月17日(水) 13:00~16:30]

1. 開催目的

国土技術政策総合研究所、独立行政法人港湾空港技術研究所及び中国地方整備局の最新の技術開発・研究成果の普及を図るとともに、港湾技術者が現場で直面する技術上の諸問題に対して、講演及び質疑応答を通じてその解決を図ることで産・官・学相互の技術力向上に寄与することを目的に開催いたします。

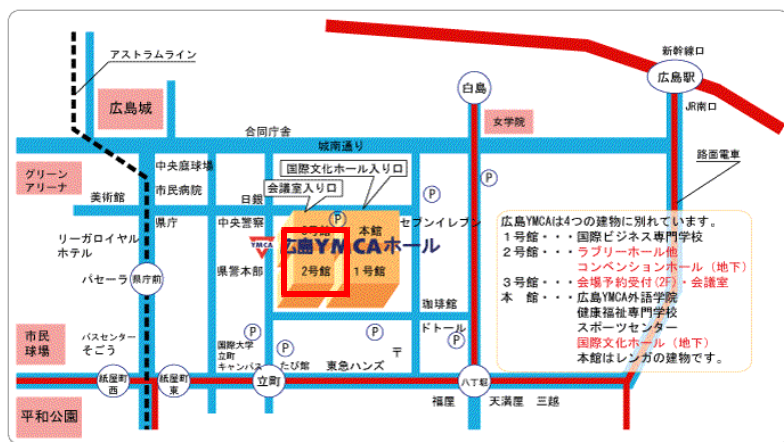
2. 開催日時

平成22年11月17日(水) 13:00~16:30 (受付12:30~)

3. 会場

広島YMCAホール 2号館B1Fコンベンションホール (住所: 広島市中区八丁堀7-11)

※会場に駐車場の確保はしておりませんので、ご来場の際は、公共交通機関をご利用願います。



4. 演 題 (詳細は 別紙プログラムを参照ください。)

- 港湾施設の材料としての木材
 - 非接触肉厚測定装置の開発
 - 境港外港地区防波堤(2) - 1における海水循環技術について (中間報告)
 - 空港舗装への再生材の利用促進並びに舗装耐久性に関する研究
 - 港湾施設の維持管理に関する取り組み
 - 海外の大型コンテナターミナルの整備状況について
- (プログラムは事前の予告なく変更になる場合がございますので予めご了承ください)

5. 聴 講

一般の方も聴講可能です。(無料、先着順にて定員100名程度を予定)
聴講を希望される方は、事前に、中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課まで申し込みをお願いします。なお、当日の聴講受付も致しますが、会場が満席の場合は入場をお控え頂きますのでご了承ください。

6. 主 催

国土交通省 中国地方整備局、国土交通省 国土技術政策総合研究所
独立行政法人 港湾空港技術研究所

7. 後 援

社団法人 土木学会 中国支部

※本講演会は土木学会CPD(継続教育)プログラムとして認定されています。

○申し込み・問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

(担当) 海洋環境・技術課 課長補佐 大串 哲哉 係長 石松 敦
おおぐし てつや いしまつ あつし
電話(082)511-3908(直通)

港湾空港技術特別講演会 in 中国 2010

開催日時：平成22年11月17日(水) 13:00~16:30

会場：広島YMCAホール 2号館B1F コンベンションホール

■ プログラム ■

13:00 開 会

13:00 ~ 13:10 開会の挨拶

中国地方整備局 副局長 細見 寛
独立行政法人 港湾空港技術研究所 理事 藤田 武彦

13:10 ~ 13:20 「国土技術政策総合研究所 紹介」

国土技術政策総合研究所 空港研究部長 長谷川 浩

13:20 ~ 13:30 「港湾空港技術研究所 紹介」

独立行政法人 港湾空港技術研究所 特別研究官 戸田 和彦

13:30 ~ 13:55 「港湾施設の材料としての木材」

「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が本年5月に公布された。港湾施設に木材を利用する際、特に海中ではキクイムシやフナクイムシなどの海生生物によって著しい劣化が生じる場合があり、対策が必要である。本講演では、木材利用が促進されるに至った経緯、港湾での設置環境別の木材の劣化原因、樹種による食害の違い、食害対策の種類、食害試験方法などについて述べる。

独立行政法人 港湾空港技術研究所 海洋・水工部 沿岸環境研究領域
沿岸環境研究チーム 主任研究官 山田 昌郎

13:55 ~ 14:20 「非接触肉厚測定装置の開発」

我が国においては、高度経済成長期に建設された大量の鋼矢板岸壁等の港湾鋼構造物が耐用年数に近づき、その老朽化が問題視されている。このような既設鋼構造物を対象とする点検・診断の手法に肉厚測定がある。現在、広く活用されているが、接触式の測定手法であるため、港湾のように海に面したフィールドの場合、事前に測定面に付着している貝などを除去しなければならなかった。除去作業は、多くの労力と時間を必要とするため、作業効率を低下させる主な原因となっている。そこで港空研では、付着物の除去を必要とせず、効率的に肉厚測定を実施できる非接触肉厚測定装置を開発した。今後、水中部の目視点検の代替や詳細点検前のスクリーニング調査への活用が期待される。

独立行政法人 港湾空港技術研究所 施工・制御技術部
計測・制御研究チーム 特別研究員 吉住 夏輝

14:20 ~ 14:35 「境港外港地区防波堤(2)-1における海水循環技術について(中間報告)」

境港昭和南地区は山陰地方の物流の拠点として重要な役割を担っている。昭和南地区では長周期波による荷役障害が冬季にたびたび発生しており、防波堤(2)-1の早期整備による荷役稼働率の向上が必要とされていた。しかしながら、整備に伴う潮流変化により水質の悪化が懸念されたため、シミュレーションを行って、海水循環が可能な防波堤構造とすることに決定し、整備中においても海水循環や水質の確保の確認を実施している。これにより、健全な水環境と生態系を保全する自然共存型港湾の実現を目指している。

中国地方整備局 境港湾・空港整備事務所
保全課 港湾施設分析評価官 上野 太地

14:35 ~ 14:50 質疑応答

14:50 ~ 15:05 休 憩

15:05 ~ 15:20 「**空港舗装への再生材の利用促進並びに舗装耐久性に関する研究**」

空港基本施設の表層は、とても大きな荷重である航空機が離発着等に使用し、特に滑走路は高速走行で利用する。そのため、耐久性・安全性の問題から、品質が保証されて実績もある新規材料で舗装しているのが現状である。公共工事での積極的なリサイクル促進の取り組みの中、空港基本施設表層への再生材利用に向けて検討を行った。

中国地方整備局 広島港湾空港技術調査事務所
技術開発課 技術開発係長 北浦 直子

15:20 ~ 15:45 「**港湾施設の維持管理に関する取り組み**」

港湾施設の計画的かつ適切な維持管理を推進するため、平成19年4月に港湾の施設の技術上の基準を定める省令が施行された。これによれば、技術基準対象施設は、施設の設計時（既存施設の場合は今後最初に実施する点検時）に維持管理計画書等を作成し、それに基づく維持行為を実施することになった。港湾空港技術研究所では、港湾の施設の維持管理技術マニュアルの執筆や研修・講習などを通じて、ライフサイクルマネジメント（LCM）の概念に基づく港湾施設の効率的な維持管理を提案している。本講演では、港湾施設の点検診断、総合評価、対策選定など、これまでに蓄積されたLCMに関する個々の要素技術の取りまとめとして開発した「係留施設の維持管理計画策定支援プログラム」を紹介する。

独立行政法人 港湾空港技術研究所 地盤・構造部 構造研究領域
構造研究チーム 主任研究官 加藤 絵万

15:45 ~ 16:10 「**海外の大型コンテナターミナルの整備状況について**」

国際海上コンテナ輸送を担うコンテナ船の大型化が進展している。我が国港湾の国際競争力の強化を図るためには、これらコンテナ船の大型化の動向に対応した港湾の整備を行う必要がある。対象船舶の大型化の動向、ターミナルにおけるコンテナ貨物の荷役・貨物取扱いの動向等を適切に考慮した国際海上コンテナターミナルの設計を行う必要がある。そこで、100,000 DWT級を超える超大型コンテナ船及び世界の主要港湾における大型コンテナターミナルの整備の動向等の整理を行い、大水深の国際海上コンテナターミナルの設計条件動向のとりまとめを行った。ここでは、これらの検討結果について紹介する。

国土技術政策総合研究所 港湾研究部
港湾新技術研究官 小泉 哲也

16:10 ~ 16:25 **質疑応答**

16:25 ~ 16:30 **閉会の挨拶**

中国地方整備局 港湾空港部長 高田 昌行

16:30 **閉 会**

●応募先（〆切11月10日（水））

電子メール：ishimatsu-a87s3@pa.cgr.mlit.go.jp

FAX：（082）511-3910

中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 石松 宛

「港湾空港技術特別講演会in中国2010」

国土交通省 中国地方整備局
国土交通省 国土技術政策総合研究所
独立行政法人 港湾空港技術研究所

参加申込書

◇お申し込み期間は平成22年11月10日（水）正午まで
定員になり次第締め切らせていただきます。

FAX送信先：082-511-3910

（国土交通省中国地方整備局港湾空港部海洋環境・技術課 宛）

- 開催日時：平成22年11月17日（水） 13:00～16:30
- 会場：広島YMCAホール 2号館B1Fコンベンションホール
広島市中区八丁堀7-11
- 参加費：無料

貴団体名	
ご連絡先	ご住所 〒
	お名前
	TEL FAX

参加者 お名前	所属部署・役職名

※個人情報の取扱について

本応募にあたり収集した個人情報は、本講演会参加者集計以外には使用しません。

■お問合せ先

〒730-0004 広島市中区東白鳥町14番15号

中国地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課

電話：（082）511-3908 FAX：082-511-3910

担当：課長補佐 大串、係長 石松